

ナスミバエ

英名 : Solanum Fruit Fly
学名 : *Bactrocera latifrons* (Hendel)

体長6mm位の小型のハエの一種で、寄主範囲はトウガラシ等ナス科植物の生果実に限られており、ミカンコミバエ種群やウリミバエと比較して増殖力は弱いとされている。

【発生地域】

東南アジア、台湾、ハワイ等

【主な寄主植物】

トウガラシ、ピーマン、ナス、トマト等ナス科植物の生果実、イヌホウズキ等野生のナス科植物が好適寄主として知られている。

【被害】

果実内でふ化した幼虫に食害されるが、海外では、通常防除が行われている栽培体系では被害が出ないとの報告があり、国内でも、農作物の被害の報告はない。

